



元気に火災予防を呼びかける参加者たち

小田少年消防クラブの夜警 「火の用心」元気に呼びかけ

小田少年消防クラブは11月6日、保護者と第6、17、18分団員と共に小田地区で火災予防を啓発する夜警を行い、約20人が参加しました。

参加者は消防団員の誘導で第6分団の屯所を出発し、約1キロメートルの範囲を巡回。子どもたちは拍子木を打ち鳴らし、「火の用心、マッチ1本火事の元」と元気に呼びかけました。第6分団長の上野勝俊さんは「地域の皆さんのおかげで長きにわたって活動を続けられている」と参加者に感謝の気持ちを伝えました。



元気に育つよう願いを込めながら稚魚を放流する児童たち

ヤマメの稚魚約4,000匹を放流 自然と命の尊さを学ぶ

上馬淵川漁業協同組合が毎年実施するヤマメの稚魚放流体験は10月21日、葛巻小学校近くの馬淵川河川敷で行われ、葛巻小の1、2年生18人が参加しました。

約4,000匹の稚魚をそっと優しく放流した児童たちは、生き生きと川を泳ぐヤマメの姿に命の尊さを感じた様子でした。触沢健さん（1年）は「大きく育ててほしいと願いを込めながら放流できた」と貴重な経験に満足した表情で感想を発表しました。

人権擁護委員連絡会が人権教室 みんなで身近な人権を考える

11月11日と12日、人権擁護委員連絡会は町内4つの小学校を訪問し、人権教室を行いました。12日は人権擁護委員4人が小屋瀬小学校を訪れ、3・4年生4人といじめを話題にして、身近な人権について学びを深めました。

児童はいじめをする側、された側の気持ちやいじめをなくすためにすべきことを考え、積極的に発表。東館金之介さん（4年）は「相手の気持ちを考えることが大事」と話し、日常の人権に目を向けるきっかけになった様子でした。



クラスメイトの意見に対し拍手をする児童と人権擁護委員

パークゴルフ納会大会 今シーズン笑顔で締めくくる

町パークゴルフ協会（下天広正会長）の納会大会が10月26日、平庭高原パークゴルフ場で開催され、会員33人が参加しました。

開会式で下天広会長は「悔いの残らないようにプレーしましょう」とあいさつ。大会はあいにくの雨となりましたが、参加者は気の知れた仲間たちと共に会話を弾ませながらコースを回り、今シーズン最後の大会を楽しんでいました。閉会式では互いのプレーを称え合い笑顔で今シーズンを締めくくりました。



会話を楽しみながらプレーする参加者

きき酒・ききワイン大会 懇親深めるきっかけに

第30回きき酒・ききワイン大会が11月14日、ふれあい宿舎グリーンテージで開催され、18組約100人が参加しました。

参加者は日本酒とワインそれぞれのわずかな違いを見逃すまいと、香りや色、味などを慎重に吟味。高得点を目指して、真剣な表情で取り組んでいました。その後の懇親会では、緊張感漂う雰囲気から一変し、チームの垣根を越えた交流が見られ、会場は笑い声と笑顔に包まれていました。



それぞれのワインの違いを見極める参加者たち



スピード感のあるプレーが見られた男子の試合と好プレーにハイタッチを交わす選手たち（円内）

町民6人制バレーボール大会 コートが活気に満ちる

第53回町民6人制バレーボール大会は11月2日に社会体育館で開催され、男女8チーム約60人が参加しました。

トーナメント形式で行われた試合は、選手たちの活気ある声が響き、仲間と連携しボールをつなぐ熱戦となりました。また選手同士で鼓舞し合ったり、ハイタッチを交わすなど、選手同士の交流も図られている様子でした。競技の結果、男子は3年連続で老球会が、女子は葛巻中バレー部が初優勝を飾りました。